



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社 三城ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 7455 URL <http://www.paris-miki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田 将広

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 ファイナンス担当 (氏名) 中塚 哲郎 TEL 03-6432-0732

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日 平成29年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	26,398	1.6	796	164.6	905	441.4	558	—
29年3月期第2四半期	25,994	△7.8	301	△75.5	167	△85.6	△157	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 590百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △556百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	10.90	—
29年3月期第2四半期	△3.05	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	47,652	34,994	72.7	680.06
29年3月期	47,926	35,060	72.5	676.02

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 34,661百万円 29年3月期 34,735百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
30年3月期	—	8.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,822	3.9	95	—	128	—	△438	—	△8.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期2Q	56,057,474株	29年3月期	56,057,474株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	5,088,864株	29年3月期	4,674,659株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	51,269,778株	29年3月期2Q	51,483,132株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内の経済状況は、景気の緩やかな回復基調が続いていることもあり、引き続き堅調に推移したものと見られます。

小売業界におきましても個人消費は比較的堅調で、節約志向が高まってはいるものの、単価は下げ止まってきていると見られます。

当社グループの国内事業におきましても、店舗ごとに業態を見直しはじめてから、眼鏡組数は順調に推移しており、また眼鏡一組単価が下がっていないこともあって、売上高は前年実績を上回る結果となりました。

主要子会社であります㈱三城におきましても、引き続き店舗業態を明確にした改装や出店を行っており、全店売上高、既存店売上高ともに前年を上回っております。

海外子会社におきましては、東南アジア地域は、医療法人とタイアップした事業を展開しておりますベトナム法人をはじめ堅調に推移しており、利益に貢献しております。しかしながら、中国、韓国法人は前年同期間と比べ営業損失額は縮小しているものの、引き続き厳しい状況であり、海外法人合計としましては、わずかながら営業損失となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高26,398百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益796百万円（前年同期比164.6%増）、経常利益905百万円（前年同期比441.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益558百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失157百万円）となりました。

報告セグメント情報の状況は、次の通りであります。

## 1) 日本

国内の売上高は23,206百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント利益801百万円（前年同期比127.0%増）となりました。

## 2) 海外

海外の売上高は3,358百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント損失3百万円（前年同四半期はセグメント損失52百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

（資産、負債および純資産の状況）

総資産は前連結会計年度末に比べ273百万円減少して47,652百万円となりました。これは主に流動資産における受取手形及び売掛金が386百万円増加したものの、現金及び預金が270百万円、無形固定資産が159百万円、固定資産における敷金及び保証金が117百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ207百万円減少して12,658百万円となりました。これは主に流動負債におけるその他が244百万円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が481百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ66百万円減少して34,994百万円となりました。これは主に利益剰余金が96百万円増加したものの、自己株式の取得により193百万円減少したことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に対して、283百万円減少し、11,334百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は1,156百万円（前年同四半期は536百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益814百万円によるものです。

投資活動の結果使用した資金は270百万円（前年同四半期は360百万円の使用）となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入271百万円があるものの、有形固定資産の取得による支出442百万円があったことによるものです。

財務活動の結果使用した資金は1,177百万円（前年同四半期は437百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出514百万円と配当金の支払額460百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表しました通期業績予想につきまして、修正は行っておりません。

しかし、事業会社の業績推移や新規事業展開の進捗状況、および世界情勢の変化等により、修正が必要と判断した場合には速やかに開示する予定です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,408	17,137
受取手形及び売掛金	2,926	3,313
商品及び製品	10,355	10,284
原材料及び貯蔵品	1,333	1,333
繰延税金資産	120	127
その他	1,269	1,155
貸倒引当金	△145	△149
流動資産合計	33,269	33,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,869	2,866
機械及び装置(純額)	31	30
工具、器具及び備品(純額)	1,226	1,228
土地	1,062	1,031
建設仮勘定	67	60
その他(純額)	49	42
有形固定資産合計	5,308	5,259
無形固定資産	1,028	868
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,849	5,731
建設協力金	69	57
その他	2,549	2,687
貸倒引当金	△96	△104
関係会社投資損失引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	8,320	8,321
固定資産合計	14,657	14,449
資産合計	47,926	47,652

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,820	1,681
短期借入金	5,781	5,791
1年内返済予定の長期借入金	500	18
未払金	1,992	2,097
未払法人税等	184	266
賞与引当金	68	78
店舗閉鎖損失引当金	81	43
その他	1,152	1,396
流動負債合計	11,580	11,373
固定負債		
長期借入金	532	500
役員退職慰労引当金	45	54
資産除去債務	336	334
その他	370	396
固定負債合計	1,284	1,284
負債合計	12,865	12,658
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,901	5,901
資本剰余金	6,829	6,829
利益剰余金	30,144	30,240
自己株式	△8,451	△8,644
株主資本合計	34,423	34,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109	182
為替換算調整勘定	202	152
その他の包括利益累計額合計	312	335
新株予約権	44	44
非支配株主持分	280	288
純資産合計	35,060	34,994
負債純資産合計	47,926	47,652

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	25,994	26,398
売上原価	8,400	8,698
売上総利益	17,594	17,700
販売費及び一般管理費	17,293	16,903
営業利益	301	796
営業外収益		
受取利息	12	10
受取賃貸料	9	9
為替差益	—	49
受取手数料	7	5
投資事業組合運用益	93	—
貯蔵品売却益	31	3
その他	95	85
営業外収益合計	249	164
営業外費用		
支払利息	17	12
為替差損	284	—
支払手数料	19	9
持分法による投資損失	45	11
その他	17	22
営業外費用合計	383	55
経常利益	167	905
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	42	29
関係会社出資金評価損	3	—
店舗解約損失金	2	18
投資有価証券評価損	—	2
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1	40
特別損失合計	50	91
税金等調整前四半期純利益	120	814
法人税等	280	251
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△160	563
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△157	558

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△160	563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136	72
為替換算調整勘定	△262	△46
持分法適用会社に対する持分相当額	2	1
その他の包括利益合計	△395	27
四半期包括利益	△556	590
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△535	581
非支配株主に係る四半期包括利益	△20	8



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	120	814
減価償却費及びその他の償却費	595	564
賞与引当金の増減額（△は減少）	△8	10
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△32	8
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△6	5
受取利息及び受取配当金	△14	△12
支払利息	17	12
為替差損益（△は益）	206	△41
持分法による投資損益（△は益）	45	11
投資事業組合運用損益（△は益）	△93	—
有形固定資産除売却損益（△は益）	39	29
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△0
投資有価証券評価損益（△は益）	—	2
売上債権の増減額（△は増加）	△34	△404
たな卸資産の増減額（△は増加）	160	72
その他の資産の増減額（△は増加）	116	△32
仕入債務の増減額（△は減少）	△2	△108
その他の負債の増減額（△は減少）	△348	349
その他	△30	16
小計	731	1,299
利息及び配当金の受取額	17	27
利息の支払額	△17	△12
法人税等の支払額	△195	△157
営業活動によるキャッシュ・フロー	536	1,156
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額（△は増加）	△134	△5
有形固定資産の取得による支出	△496	△442
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	287	0
敷金及び保証金の差入による支出	△213	△144
敷金及び保証金の回収による収入	217	271
建設協力金の回収による収入	29	11
その他	△47	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△360	△270
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	59	—
長期借入金の返済による支出	△16	△514
配当金の支払額	△461	△460
非支配株主への配当金の支払額	—	△0
その他	△18	△202
財務活動によるキャッシュ・フロー	△437	△1,177
現金及び現金同等物に係る換算差額	△163	7
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△425	△283
現金及び現金同等物の期首残高	12,890	11,617
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	9	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,475	11,334

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の国内連結子会社は、税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,552	3,441	25,994	—	25,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	103	29	132	△132	—
計	22,656	3,471	26,127	△132	25,994
セグメント利益又は損失 (△)	352	△52	300	0	301

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,084	3,313	26,398	—	26,398
セグメント間の内部 売上高又は振替高	121	44	166	△166	—
計	23,206	3,358	26,564	△166	26,398
セグメント利益又は損失 (△)	801	△3	797	△1	796

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。